

Contents

Topics ! 見附絵莉先輩 アジアでメダル獲得 !

1. 世界ジュニア代表選手感想
2. 全日本学生個人戦 男女5階級で優勝
3. 全日本選手権大会結果
4. 新入部員紹介 / 新入部員歓迎会を開催
5. 予餞会模様
6. 4年生との意見交換会を開催
7. 訃報
8. リレー寄稿 あの先輩はいま
9. 熱海1泊ミニOB会模様
10. 探球会を開催
11. 平成30年度総会報告
12. 寄付者ご芳名
13. 夏合宿のお知らせ



<新入部員集合写真>

Topics! 見附絵莉先輩 アジアでメダル獲得 !

4月20日～28日、中国寧波市にてアジア選手権大会が開催され、OGの松本潮霞選手(H26卒)と見附絵莉選手(H27卒)が出場しました。

大会6日目の25日に行われた女子71kg級で、見附選手が6本全ての試技を成功させて、見事3位入賞を果たしました。スナッチは2位で銀メダルを獲得。ジャーク・トータルの銅と合わせてメダル3個を持ち帰りました。見附先輩、おめでとうございます !

階級	選手名	卒業年 所属	BEST				TOTAL	
			S	順位	C&J	順位	記録	順位
W64kg級	松本潮霞	H26年卒 ALSOK	96kg	6位	113kg	12位	209kg	10位
W71kg級	見附絵莉	H27卒 大阪府警	97kg	2位	118kg	3位	215kg	3位



(写真 : 日本ウエイトリフティング協会 Facebook公式ページより転載)



世界ジュニア代表選手感想

6月1日～8日、フィジー共和国で世界ジュニア選手権大会が開催されました。早稲田から日本代表として出場した3名に感想を寄せてもらいましたのでご紹介します。



◆木村勇喜（スポーツ科学部3年）

私は6月2日にフィジー共和国で行われた世界ジュニア選手権大会に男子67kg級の日本代表として出場させていただきました。

スナッチは2本成功の122kgで10位、C&Jは2本成功の146kgで12位、トータルは268kgで10位という結果でした。怪我の影響もあり、C&Jはベストの9kg下で終わり、満足できる結果とはなりませんでした。

今大会で、他国の選手と自身を比較して、身体の大きさが劣っていることや、他国の選手はとても力強い試技をしていることなど、全体的に身体パワーに大きな差があると感じました。

また、国際大会で結果を出すことの難しさや、勝負所で自分の力を発揮することの難しさを改めて実感しました。

今大会で得たものを次へ活かすために、課題点に関しては練習量を増やして改善し、今後の競技力向上に努めたいと思います。

◆佐藤康太郎（スポーツ科学部1年）

今回の世界ジュニア選手権大会で男子73kg級の代表として出場させていただきました佐藤康太郎です。

結果はS130kg、C&J168kg、トータル298kgで8位でした。C&Jはベストを3kg更新し、C&Jで自己新記録とジュニア日本記録を樹立するという目標を達成することができました。決して良いとは言えない環境の中で、スナッチはベストの3kg下に成功し、C&Jはベストを3kg更新することができ、自分にとって大きな自信につながりました。

また、自分と上位の選手を比べてみると、フォームの安定性や筋肉量に大きな差があることがわかりました。これまではフォームの改善をメインに練習してきましたが、強くなるためには筋力トレーニングも大切な要素だと思いました。加えて自分に合ったフォームを見つけるために、試行錯誤していきたいと思います。

今回の経験を来年の世界ジュニアに活かせるように、しっかりと練習していきたいと思います。



◆原沙織（スポーツ科学部1年）

今回フィジー共和国で行われた世界ジュニア選手権大会に女子55kg級で出場させていただきました原沙織です。

この試合は入賞を目標として臨みましたが、4本成功で9位という満足できない結果で終わってしまいました。しかし、高校の先生や岡田部長、先輩や同期など身近にいる人たちと一緒にいることができ、とても心強く落ち着いて試合に臨むことができました。

また、グループAで出場することができて良かったと感じています。上位での勝負は出来なかったものの、この試合で大きな刺激を得たことにより、自身の課題について考えさせられる部分が多くありました。特にクリーンのフォームを重視して、トータルをあと15kg以上伸ばしたいと考えています。そして、来年の世界ジュニアに向けて結果を残せるよう精進して参ります。

最後に、応援してくださりありがとうございました。

(写真：日本ウエイトリフティング協会 Facebook公式ページより転載)

全日本学生個人戦 男女5階級で優勝

4月26日～28日、大阪府のはびきのコロセアムで全日本学生個人戦が開催されました。

男子は、67kg級で木村勇喜選手が優勝。知念勇樹選手は昨年の69kg級に続き73kg級を制しました。

女子では、45kg級で鈴木莉乃選手、49kg級で鈴木梨羅選手、55kg級で原沙織選手が優勝しました。49kg級の新川百音選手、71kg級の西村深聡選手もメダルを獲得し、5月の全日本選手権大会に向けて弾みをつけました。

平成31年度 第65回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会 第31回全日本女子学生ウエイトリフティング個人選手権大会									
階級	選手名	学部学年 卒業年	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	C&J	順位	記録	順位
M67kg級	木村勇喜	ス3	66.7	125	2	155	1	280	1
M73kg級	知念勇樹	ス3	72.7	122	2	167	1	289	1
	生頼啓暉	ス2	71.65	112	9	155	4	267	4
	坂本拓夢	ス1	71	110	12	135	9	245	10
	西野溪心	ス2	72.75	113	8	125	15	238	13
M81kg級	田中裕也	ス4	79.6	121	7	142	10	263	10
M102kg級	岡村幸尚	社2	99.18	126	5	160	3	286	4
	柏木良太	ス1	97.58	126	7	156	5	282	6
W45kg級	鈴木莉乃	ス1	43.9	56	1	78	1	134	1
W49kg級	鈴木梨羅	ス3	45.25	70	1	94	1	164	1
	新川百音	ス4	48.75	65	3	85	3	150	3
W55kg級	原沙織	ス1	53.9	77	2	100	1	177	1
W59kg級	山口千尋	ス2	58.22	70	5	93	5	163	5
W64kg級	後藤虹海	社2	キ	0		0		0	
W71kg級	西村深聡	ス2	68.92	80	3	108	3	188	3
	吉武温子	ス1	69.6	86	2	96	7	182	5
W+87kg級	佐熊汐梨	社2	87.38	78	4	93	5	171	5

【学部表記凡例】 ス：スポーツ科学部 社：社会科学部



男子67kg級 木村勇喜選手



男子73kg級 知念勇樹選手



女子45kg級 鈴木莉乃選手



女子49kg級 鈴木梨羅選手



女子55kg級 原沙織選手

全日本選手権大会結果

5月24日～26日、岩手県奥州市で全日本選手権大会が開催され、早稲田勢は計18名(部員7名、OB・OG11名)が出場しました。

女子は、71kg級で見附絵莉選手(H27卒)がスナッチで日本新記録(100kg)を樹立し、優勝を果たしました。45kg級でも鈴木梨羅選手(3年)が優勝を果たし、同級2位の鈴木莉乃選手(1年)、71kg級で2位となった吉野千枝里選手(H25卒)も健闘が光りました。男子では、知念勇斗選手(H31卒)が55kg級2位、安達貴弘選手(H25卒)が81kg級2位と活躍しました。

今大会で早稲田勢は18名中10名が表彰台に立ちました。3位以内入賞が3名であった前回大会と比べ早稲田勢の躍進が際立った大会でした。

令和元年度 第79回全日本ウエイトリフティング選手権大会 第33回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会									
階級	選手名	学部学年 卒業年	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	C&J	順位	記録	順位
M55kg級	知念勇斗	H31卒	54.76	103	3	130	1	233	2
M67kg級	千葉健介	H30卒	66.75	115	5	145	4	260	4
M73kg級	知念勇樹	ス3	72.5	123	4	155	4	278	4
	生頼永人	H30卒	72.85	120	5	155	5	275	5
M81kg級	安達貴弘	H25卒	80.55	140	6	182	2	322	2
M89kg級	菅野真央	H28卒	88.6	133	4	151	6	284	6
W45kg級	鈴木梨羅	ス3	44.6	75 (US)	1	95	1	170 (US)	1
	鈴木莉乃	ス1	44.35	57	2	80	2	137	2
W49kg級	新川百音	ス4	48.75	65	6	86	4	151	4
W55kg級	安嶋千晶	H31卒	53.45	76	4	100	2	176	3
W59kg級	内門沙綾	H30卒	58.25	78	7	107	2	183	3
W64kg級	松本潮霞	H26卒	63.6	93	3	115	3	208	3
W71kg級	見附絵莉	H27卒	69.85	100 (NR)	1	117	1	217 (NS)	1
	吉野千枝里	H25卒	70.65	87	4	115	2	202	2
	吉武温子	ス1	70.45	82	5	103	7	185	5
	戸田妃乃子	ス3	65.45	70	10	80	10	150	10
W76kg級	西村深聡	ス2	71.7	77	6	109	3	186	4
W87kg級	佐熊汐梨	社2	85.65	70	4	90	3	160	3

※NR→日本新記録、NS→日本スタンダードタイ記録、US→大学スタンダードタイ記録
【学部表記凡例】 ス：スポーツ科学部 社：社会科学部



M81kg級2位 安達貴弘選手



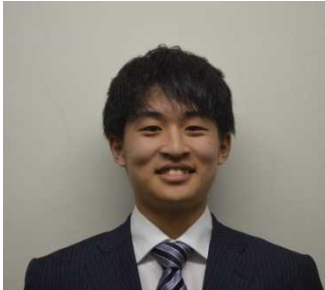
W71kg級1位 見附絵莉選手

(写真：日本ウエイトリフティング協会 Facebook公式ページより転載)

新入部員紹介 1/3

今年度は男子6名・女子4名の計10名の新入部員を迎えました。将来活躍が期待される新人たちに以下の質問を投げかけてみました。プロフィールと合わせてご覧ください。

- ①なぜ早稲田でウエイトリフティングをやろうと思った？
②試合で注目してほしいところは？ ③早稲田に来て驚いたことは？ ④今後の目標は？



家吉 理空
(いえよし りく)

学部：社会科学部

出身高校：熊本県立第一高等学校

階級：55kg級 ベスト：S:80kg/C&J:102

- ①高いレベルで学業とウエイトリフティングをすることができる環境であったからです。
②現在スナッチのフォームを改良しているため、試合ではスナッチを注目してほしいです。
③多くの分野でそれぞれ秀でた人たちがいて、活躍していることです。
④自分自身のフォームや技術を見直していくこととチームに貢献することです。



柏木 良太
(かしわぎ りょうた)

学部：スポーツ科学部

出身高校：京都府立鳥羽高等学校

階級：102kg級 ベスト：S:130kg/C&J:159kg

- ①高いレベルのスポーツ科学を学び、ウエイトリフティングとの両立をしたいと考えたからです。
②気合いの入った試技に注目して下さい。
③周りにトップアスリートの人たちが多くいることで、自分自身の競技者意識が高まる場所です。
④インカレで個人、団体ともに優勝することです。



佐藤 康太郎
(さとう こうたろう)

学部：スポーツ科学部

出身高校：宮城県農業高等学校

階級：73kg級 ベスト：S:133kg/C&J:168kg

- ①高いレベルでスポーツについて学ぶことで、競技に活かせると思ったからです。
②試合を楽しんでいるところに注目してほしいです。
③それぞれの部に学生トレーナーがいることです。
④出場する全ての大会で、良い結果を残せるようにしたいと思います。



坂本 拓夢
(さかもと たくむ)

学部：スポーツ科学部

出身高校：名城大学附属高等学校

階級：73kg級 ベスト：S:120kg/C&J:140kg

- ①部活動での自主性や自由度が高く、自分に合った練習内容やフォームを考えることができると思ったからです。
②他の選手とは違うスナッチのフォームをしているので、そこに注目してほしいです。
③どの施設も設備が整っていることと、自由に使えるトレーニングルームが多くある場所です。
④インカレで得点を取ってチームに貢献することと、国際大会に出場することです。

新入部員紹介 2/3



西 堅也
(にし けんや)

学部：スポーツ科学部

出身高校：茨城県立高萩清松高等学校

階級：+109kg級 ベスト：S:119kg/C&J:152kg

- ①日本でもトップレベルの選手が在籍する環境で、自分自身を高めたいと考えたからです。
- ②成功率です。高校3年時は6試合で6本成功し、成功率には自信があるのでそこに注目してほしいです。
- ③所沢キャンパスから早稲田キャンパスまでの距離が予想以上に長いことです。
- ④2年生までに怪我をしない体づくりを徹底し、3年生からは結果を残せるような選手になります。



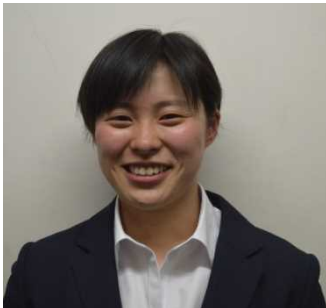
宮下 一心
(みやした いっしん)

学部：社会科学部

出身高校：金沢学院高等学校

階級：61kg級 ベスト：S:102kg/C&J:126kg

- ①練習設備、選手、監督やコーチなど、どこをとっても一流の環境で努力すれば、今まで以上に志を高く持って競技することができると思ったからです。
- ②ジャークです。プッシュジャークをしているので、力強い試技で会場を湧かせたいと思います。
- ③学業も部活動も自由度がとても高いところです。
- ④表彰台に立って、チームに貢献できる選手になります！



久保 美波
(くぼ みなみ)

学部：社会科学部

出身高校：宮崎県立小林高等学校

階級：59kg級 ベスト：S:67kg/C&J:89kg

- ①宮崎県出身の先輩方が活躍されていることに憧れたからです。また、競技と勉学の両立を高いレベルで成し遂げられると考えたからです。
- ②スナッチです。私はスナッチの成功率が低いため、今後はスナッチの成功率を上げて、得意のジャークへいい流れを作れるようにしたいと考えています。
- ③とにかく毎日キャンパス内が賑わっていることに驚きました。
- ④この1年間で15kg以上トータルを伸ばし、インカレに出場して団体優勝に貢献できるようにすることと、支えてくださった方々に恩返しをすることです。



原 沙織
(はら さおり)

学部：スポーツ科学部

出身高校：前橋育英高等学校

階級：55kg級 ベスト：S:78kg/C&J:100kg

- ①インカレでの団体優勝や国際大会で結果を残している人が多いことと、高校時代から知っている先輩や憧れの先輩がいたからです。
- ②成功率です。スナッチの1本目で成功すると良い流れが作れます。成功率は高校時代から重視してきたため、そこに注目して欲しいです。
- ③練習時に応援の声飛び交っているところです。高校時代は少人数であったため、最初は毎日が合宿のようで新鮮でした。さらに部員がみな仲良しなのでとても居心地がいいです。
- ④インカレに出場し、団体、個人ともに優勝することと、大学記録を樹立することです。

新入部員紹介 3/3



鈴木 莉乃
(すずき りの)

学部：スポーツ科学部

出身校：岩手県立盛岡工業高等学校

階級：45kg級 ベスト：S:62kg/C&J:82kg

- ①早稲田大学ウエイトリフティング部OGで日本記録保持者である、同じ岩手県出身の富田史子先生のように、岩手から世界へ羽ばたく選手になりなかつたからです。
- ②自己新記録に挑戦する予定のジャークの3本目です。
- ③世界や全国で活躍する様々な競技のスター選手と出会えることです。
- ④インカレで女子団体優勝に貢献できるように、試合で結果を残せる選手になりたいです。



吉武 温子
(よしたけ あつこ)

学部：スポーツ科学部

出身高校：沖縄県立那覇国際高等学校

階級：71kg級 ベスト：S:89kg/C&J:103kg

- ①高い競技力を持つ先輩方が周りにいる環境の中で、自分自身も記録を伸ばしていきたいと思ったからです。
- ②思いっきり煽るスナッチに注目して下さい。
- ③怪我をした時に診てくれるトレーナーさんがいることと、部員同士の仲の良さに驚きました。
- ④今後は学生チャンピオンを目指し、1年生の終わりまでにスナッチ93kg、ジャーク107kg、トータル200kgを達成できるよう日々精進します。

新入部員歓迎会を開催

5月12日、早稲田大学染谷記念国際会館にて新入部員歓迎会が開催されました。新入部員10名の紹介、岡田部長挨拶のあと志田会長による歓迎の言葉と発声で乾杯。OB・OG出席者を紹介して歓談に移りました。

後半は指導スタッフを代表して武井コーチ、吉田主将から歓迎の挨拶があり、岡田部長から部章を授与、高橋明先輩(S46卒)から創部60周年記念誌を手渡していただき、新入部員一人ひとりが自己紹介と将来に向けての抱負を語りました。

続いて、世界ジュニア選手権(6月・フィジー)代表選手3名に当会から遠征補助・激励を贈呈し、木村勇喜選手(M67Kg級・3年)、佐藤康太郎選手(M73kg級・1年)、原沙織選手(W55kg級・1年)が大会に向けて抱負を語りました。盛会は上野稔先輩(S45卒)からの激励の言葉に続き、出席者全員で早稲田アスリート宣言唱和、校歌斉唱で中締めとなりました。



予餞会模様

3月21日、総会に引き続き予餞会が開催されました。卒部生は9名で、早稲田で過ごした4年を振り返りながら部や競技に対する思いや今後に向けた決意を語ってくれました。

4年間本当にご苦労さまでした。今後はOB・OGとして一緒に部を盛り上げていきましょう。

卒部生氏名（学部）

池田祐介（社会科学部） 大原魁斗（社会科学部） 神田悠斗（社会科学部）
知念勇斗（スポーツ科学部） 永迫竜矢（スポーツ科学部） 西海大地（スポーツ科学部）
安嶋千晶（スポーツ科学部） 柏木麻希（スポーツ科学部） 田中季恵（スポーツ科学部）



4年生との意見交換会を開催

4月13日、下落合・かがやきにて4年生との意見交換会を開催しました。学生は吉田旭主将はじめ3名、OBは吉岡監督志田会長はじめ7名が参加し、部の運営や支援のあり方などについて意見交換を行いました。

短い時間ではありましたが、主将からは部員同士のコミュニケーションを密にしてチームとしての結束を高めていくとの運営方針が語られ、競技や後輩部員の指導、卒業後の進路についてなどそれぞれ言葉を交わすうちに4年生一人ひとりの成長とリーダーシップを確認することができました。



訃報

6月、岡田文男先輩（S49卒）が永眠されました。

長年にわたる当部ならびに当会へのご支援に対し心から感謝申し上げ、哀悼の意を捧げます。

今回は新代表委員の昭和47年卒・岩永勉先輩に筆を執っていただきました。

ウエイトリフティング卒部その後

1972年(昭和47年)にウエイトリフティング部を卒部しましたが、早稲田大学の卒業までは2年を残しておりました。5年生で全ての単位を取得できても、あと8単位(2科目)は残ってしまうからです。そこで私はこの2年を如何にして有意義に過ごすかを考え、その結果ラグビー部に入部しようと決心しました。元々社会に出たら趣味でラグビーをやろうと思っておりましたので、ラグビーをやることに何の抵抗もありませんでした。



当時の早大ラグビー部は大学日本一であると同時に毎年1月15日(成人の日)に行われる社会人優勝チームとの真の日本一をかけての試合でも2年連続日本一となった強豪チームでした。ラグビー部に友人もいましたので相談した所その友人も『チャレンジしてみろよ』と背中を押してくれました。東伏見のグラウンドへ出向きそのまま練習に参加し、終了と同時に入部を許可されました。ここで晴れて早大ラグビー部員となった私は、これで日本一という経験を味わえるという喜びを感じたのも束の間、想像を絶する練習量と練習時間の約80%がただ只管走る事に費やされる事に愕然としました。それもこれも早稲田は他の大学に走り勝つ事が、絶対条件だったからです。

ウエイトリフティングの練習では走る量は僅かですから、全く正反対の環境に茫然自失となり、練習終了時には精も根も尽き果ててしまう毎日でした。これをこれから約2年間やるのかと思った時、正直目の前が真っ暗になりました。しかしここで尻尾を巻いて退部でもしようものなら、とんだ笑い者にもなってしまいますし、4年間お世話になったウエイトリフティング部に泥を塗る事にもなってしまいます。悩み苦しみました。退部だけは絶対にしてはいけないという一念で、2年間を頑張りました。2年目は学生日本一となり、その喜びと偉大さを肌で感じた事は何事にも代えられない貴重な経験となりました。又2年間の苦しく厳しい部生活も無駄にならずに済んだ、報われたと改めて実感しました。

ラグビーを表すのに「One For All, All For One」という言葉があります。「一人は全員の為に、全員は一人の為に」という意味で、このフレーズは団体スポーツの神髄を現わしていると言えます。ウエイトリフティングは基本的に個人スポーツですが、インカレや早慶戦は団体戦です。現役諸君、諸嬢の皆さんもその事は十分に理解している事だと思います。女子は過去にインカレを3回制覇しておりますが、男子は10数年前の2位が最高で、優勝は未だありません。昨今の早稲田は男子インカレ優勝に全く手の届かないレベルではありません。それどころかもう少しの所に来ております。その実現の為に一人一人が切磋琢磨し合い、無謀なやりすぎで故障することなく、しかし決して妥協せずに練習や各競技会に臨んで下さい。練習も試合も何の悔いも無くやりきったと全部員が感じた時に【インカレ優勝】が現実のものとなると思います。

是非一度優勝を経験してみてください。まさに見える景色が違ってきます。同時に早稲田大学、自分自身、仲間への誇りが自然と湧いてくるでしょう。部長、監督、コーチ、OB,OG、先輩、同期、後輩への感謝の気持ちと共に、各々へのリスペクトの気持ちが溢れてきます。そして早稲田大学に進学した喜びを感じる筈です。インカレ会場で高らかに「都の西北」を全員で歌えたら最高です。最後に親御さんに感謝する事も忘れないで下さい。御健闘をお祈りいたします。

岩永勉(S47卒)

熱海1泊ミニOB会模様

平成最後のミニOB会が4月9日から1泊2日で、創業1806年、熱海の老舗・数寄屋造りの古屋旅館に総勢18名が集まり賑やかに開催されました。

懇親会が始まるまでの間、熱海七湯の一つを源泉とする天然温泉で疲れを癒やしたり、近況を報告し合うなどゆったりと過ごしました。午後6時からの懇親会は、山内氏のご挨拶でスタート。現代的な京風懐石料理に笑顔がこぼれ会話が弾む中、途中で鈴木伊能勢氏から女優・吉永小百合との在学時のエピソードが披露されたり、志田氏から今年度の新入部員の紹介や部の現状などの報告がありました。



ところで、会場入口に掲示された「早大W.LミニOB会」の看板に関して、宿の接待係の一部でW.Lは「ウーマン・リブ」の略か？と誤解が生じそうになり、出席者の顔ぶれを見るにつけそのギャップに一角ではかなり盛り上がっていました。二次会は部屋で、山内氏からマスターズ大会の様子や、筋肉は何才になっても鍛えられるといったお話しが興味深く語られなど、皆さんの色々な体験談にあつと言う間に時間が過ぎて行きました。

翌日、朝食後に解散となりましたが、季節外れの寒波と降りしきる雨の中、「今日は絶好のゴルフ日和だ！」と宿を後にする面々に頼もしさ(痩せ我慢?)すら感じてしまいました。

来年もこうして皆さんお元気にお会い出来る事が今から楽しみな二日間でした。

最後に今回とりわけお世話になりました山内氏、谷川氏、岩永氏に改めて感謝申し上げます。

伊藤茂(S51卒)

【参加者】

S42卒：山内英雄 S43卒：鈴木伊能勢・中田正剛 S44卒：藤田和雄・村岡芳彦

S45卒：上野稔・榎直樹・岡田正三・谷川吉史・林康昭・森武彦 S46卒：高橋明

S47卒：岩永勉・藪田雄一 S48卒：水谷吉朗 S49卒：岡田文男 S51卒：伊藤茂・志田典明

探球会を開催

5月21日、埼玉県飯能市の武蔵丘ゴルフコースにおいて探球会(当会親睦ゴルフ会)が開催されました。

2月に日程が決まり、予定を空けて楽しみにしていたにもかかわらず、前夜から降り始めた雨は無情にもゴルフ場に向かう間もその強さを増すばかり。風も強くなり、さすがに今回は延期かと思いきや、クラブハウスに到着すると、なんと(大先輩の皆さんやる気満々で)決行の判断が下されていました。

当会OB 11名とお仲間の尾崎様が3組に分かれ、降り頻る雨のなか定刻にスタート。これ以上ないタフなコンディションにショットが乱れ、スコアもまとまらず何度か心が折れそうになりましたが、互いに励ましあいながら何とか前半をホールアウト。気が付けば、レインウェアの中までずぶ濡れでした。休憩中もまったく雨が上がる気配がないため続行を断念。9ホールに短縮してのコンペとなりました。

風呂で温まったあと表彰式・懇親会が行われ、悪天候のなか9ホールをグロス49でホールアウトされた田口薫先輩が優勝されました。

野中弘一(H01卒)

【参加者】

S35卒：古川雍夫 S42卒：田口薫

S44卒：内村正月・藤田和雄・村岡芳彦・山内俊夫

S45卒：上野稔・森武彦 S49卒：岡田文男

S51卒：石橋義久 H01卒：野中弘一



平成30年度総会報告 1/2

3月21日、早稲田大学染谷記念国際会館において、平成30年度総会が開催されました。短い時間ではありましたが、各議案について、本会の目的を達成すべく活発な議論が交わされました。遅くなりましたが、以下に要旨をご報告いたします。ご出席いただいた先輩の皆さま、ありがとうございました。

【出席者】※敬称略

中田正剛(S43) 藤田和雄(S44) 上野稔(S45) 岡田正三(S45) 谷川吉史(S45) 鶴飼信一(S46) 高橋明(S46)
岩永勉(S47) 岡田文男(S49) 伊藤茂(S51) 志田典明(S51) 数野裕之(S59) 野中弘一(H01) 岩崎久和(H02)
岡田純一(H02) 吉岡史生(H13) 武井誠一郎(H24) 松本潮霞(H26) 堀井勇也(H27) 菅野真央(H28) 生頼永人(H30)

【議事要旨】 ※会計資料は稲門ウェイトリフティングクラブWebサイトをご覧ください。

[議題1] 平成30年度活動報告及び収支決算報告/監査報告に関する件

役員より、平成30年度の活動及び収支決算、並びに監査結果について報告し、満場一致で承認されました。

- *「会費」は、計179万4千円の納入がありました。先輩皆さまのご理解ご協力に感謝いたします。
- *荒木宏久先輩(S55)からご寄付10万円、樋沼博先輩(S52)から部遠征補助等助成金3千円を賜りました。
- *「卒業生記念品製作費」は、従来の木工パーペルから写真パネルに切り替えて5名分作成し予餞会で贈呈しました。
- *「インカレ・早慶戦観戦会員補助」は、試合サポート・来場観戦会員向けに弁当と飲み物を提供させていただきました。
- *「地域会員懇親会援助費」は、稲門体育会会員総会(5月早稲田)出席会員6名に対し補助を支出しました。国体(福井)参加者懇親会は機会がなかったことから支出を控えました。
- *「通信費・消耗品費」は、6月のクラブニュース発行の際に担当者間で作業手順の引き継ぎが不十分であったために誤ってメール配信協力者向けに印刷物を郵送してしまいました。お詫びいたしますとともに再発防止に努めます。なお、電子メール配信の参加者は149名に達しました。経費節減へのご協力、誠にありがとうございます。
- *「会議費」は、4月に4年生との対話会を開催しました。例年より4年生の人数が多いことから2万円を支出しました。
- *「特別積立金(部遠征補助等)」は10万円を積み立て、大学新記録樹立褒賞、世界ジュニア選手権(ウズベキスタン)・世界大学選手権(ポーランド)・日韓中大会(韓国)派遣選手に対する遠征補助及び世界選手権(トルクメニスタン)代表選手への激励金、コーチの国内遠征帯同補助を支出しました。
- *「特別積立金(75周年記念事業等)」は予算どおり20万円を積み立てました。

[議題2] 代表委員(稲門体育会)及び常任幹事の選任に関する件

藤田和雄先輩(S44)の代表委員退任意向及び稲門体育会から女子代表委員選任の依頼を受け、幹事会より次期代表委員として岩永勉先輩(S47)・富田史子先輩(H19)を推薦。また、代表委員の補佐と女子の当会活動参加を支援する常任委員として小町史華先輩(H28)を推薦。以上役員を選任について付議し、満場一致で承認されました。現在の役員は以下のとおりです。

- (1) 会長 志田典明(S51)
 - (2) 副会長 山内英雄(S42) 中田正剛(S43) 谷川吉史(S45) 数野裕之(S59)
 - (3) 幹事長 野中弘一(H01) (4) 会計幹事 菅野真央(H28) (5) 常任幹事 小町史華(H28/新任)
 - (6) 監事 高橋明(S46) 正木隆至(S48) (7) 代表委員 岩永勉(S47/新任) 富田史子(H19/新任)
- 4年間代表委員を務めていただいた藤田和雄先輩が退任されました。在任中はご多忙なか稲門体育会との連携にご尽力いただきました。この場を借りて心より感謝申し上げます。

[議題3] 会則の見直しに関する件

代表委員男女各1名を当会の役員に位置付けること及び幹事長が校友会代議員を兼務することを確認。これに伴う会則の関連条項(第7条「役員の種類」・第8条「役員を選任」・第10条「役員の任務」)の改定について付議し、満場一致で承認されました。なお、会則は平成31年4月1日より改定施行となりました。

[議題4] 当会代表としての活動に伴う経費の補助に関する件

稲門体育会会員総会への出席や首都圏以外からの会議出席等、当会代表として活動する際の経費の一部を補助することについて付議し、満場一致で承認されました。なお、運用の詳細に関しては役員に一任していただきました。

[議題5] 「早稲田スポーツ名鑑」登録データに係る意向確認に関する件

早稲田スポーツミュージアム内設置の専用端末で参照可能な「早稲田スポーツ名鑑」登録データ提供依頼について、以下のとおり当会としての対応スタンスを確認しました。

- (1) 稲門体育会全体での取り組みであることから、データ提供には協力する。

(次ページへ)

平成30年度総会報告 2/2

(前ページより)

(2) 当会から提供するデータの対象項目は以下の5項目までとする。

①氏名 ②氏名(かな) ③学部 ④卒部年 ⑤役職 [主将・女子主将・主務]

(3) 本人から辞退の申し出があった場合には、当会から登録データの削除を依頼する。

次年度期中に「早稲田スポーツ名鑑」登録の意向確認を実施します。先輩皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

[議題6] クラブニュース等の郵送に係る意向確認に関する件

次年度以降の当会広報活動取り組みスタンスについて、以下のとおり確認しました。

(1) インターネットの普及に伴い、クラブニュース等の広報についてWebサイトやメールで発信する形に移行する。

(2) クラブニュース等の郵送は経費が割高であることから、郵送対象者については会費の納入を必須とする。

※ これまで、定時総会報告を含むクラブニュース(年1回、概ね6月に発行)のみ、会費未納の方に対しても郵送を行ってきたが、今後は郵送の対象外とする。

※ 郵送対象者から会費納入免除の申し出があった場合には、クラブニュース等郵送の中止を伝える。

次年度期中にメールアドレスの届けがない方に対して郵便にて意向(メール配信希望・郵送希望・どちらも不要)確認を実施します。先輩皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

[議題7] 平成31年度活動計画及び収支予算に関する件

役員より、平成31年度の活動計画及び収支予算案について説明し、原案どおり承認されました。

*「会費」は、180万円を目標に、1人でも多く納入していただけるよう協力の呼びかけを継続して行います。

*「部への補助」、「新人勧誘費」、「学生MVP賞品代」は、これまでと同額の援助を行います。

*「卒業生記念品製作費」は、9名分作成し予餞会で贈呈します。

*「インカレ・早慶戦観戦会員補助」は、参加者への弁当提供を見直し、節約を図る予定です。

*「代表者活動補助費」は、稲門体育会会員総会(7月早稲田)等の出席者に対し経費の補助を支給します。

*「特別積立金(75周年記念事業等)」は20万円を積み立てる予定です。

*「特別積立金(部遠征補助等)」は、10万円を積み立てた上で国際競技会代表選手遠征補助、コーチに対する国内遠征帯同補助、新記録樹立褒賞等の運用に充てる予定です。

以上

寄付者ご芳名

部の育成発展並びに当会の運営に対し多大なるご支援を賜りました。心から感謝申し上げます。

■ 部遠征等助成金・寄付

100,000円 荒木宏久(S55) 3,000円 樋沼博(S52)

◆ 指定寄付(ウエイトリフティング部指定)

100,000円 藤原哲郎様(校友) 50,000円 中山貴資様(父母)

3,000,000円 岩瀬至(S44) 50,000円 谷川吉史(S45)

夏合宿のお知らせ

日程： 8月9日(金)～14日(水)

場所： KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園 トレーニング場
宮崎市大字熊野2206-1 TEL 0985-58-5588(総合受付)
・宮崎空港からタクシー10分 ・JR日南線運動公園駅徒歩5分

宿舎： AOSHIMA FISHERMAN'S BEACHSIDE HOSTEL & SPA
宮崎県宮崎市青島3-1-53 TEL 0985-77-5525
・宮崎空港からタクシー17分 ・JR日南線青島駅徒歩3分

皆さまのご参加をお待ちしております。ご参加いただける場合はあらかじめご一報ください。

連絡先： ウエイトリフティング部 主務・田中裕也 電話 ***-****-****